

2021

Annual Report



NPO 法人

とちぎユースサポーターズネットワーク

Tochigi
Youth
Supporters
Network*

新スタッフの合流により、事務局体制の若返りと充実ができ、若者とより近く、より密な関わり方を体現できた1年になりました。また地域に触れ、地域で活動する一步を踏み出す若者の輩出を目指した「あしかもメディア」を機能化できました。今後も新プログラムの開発や既存プログラムの充実を図り、若者が挑戦できるきっかけを増やしていきます。また行政の委託事業ではない事業収入も増加しました。一方で、事務局中心で事業を推進してきていることで、地域内リソースや支援の幅、地域を捉える視点が狭くなりやすいことを感じています。「挑戦が持続・循環する生態系」をつくっていくために、当会を支援して下さる方とこれまで以上に協力し、若者に必要なことを生み出していかねばならないとスタッフ一同深く認識し、事業を進めて参ります。

代表理事 岩井俊宗

STAFF

代表理事 岩井 俊宗

宇都宮市出身。2005年宇都宮大学国際学部卒業後、ボランティアコーディネーターとして市民活動支援機関に入職。NPO・ボランティア支援、個別SOSに従事。2008年より若者の成長機会創出と社会課題の解決に向けて持続的に取り組む人材を輩出し、若者による社会づくりの加速を目的に当会を設立。2010年NPO法人化。代表理事を務める。2児のパパ。



理事 古河 大輔

小山市出身。仙台、名古屋、南米ボリビアと各地を転々とした後、地元へ。立ち上げ期から参画し、地域の課題解決と挑戦する若者たちの生態系づくりに取り組む日々。複数のチームで、仲間たちと地域に必要なことや地域を楽しむことをあれこれと企てている。その他、一般社団法人カゼトツチ代表理事など3足のわらじをはいた複業ワーカー。



プログラムコーディネーター 正木 健

宇都宮市出身。カナダの大学に進学してグローバルな環境で勉強に明け暮れる中、ローカルに目覚める。東京と栃木の二拠点生活をしながら様々なプロジェクトに参画する際に、理事の古河に声をかけてもらい「地方でポジティブなエネルギーのある若者が活躍できる場をつくりたい」という想いから2019年にジョイン。趣味は外遊びと便利屋さん。



プログラムコーディネーター 小泉 美咲

茨城県水戸市出身。宇都宮大学在籍中は耕作放棄地の開墾や援農ボランティアを経験し、卒業後農業の道に進むが、若者のチャレンジできる環境づくりに共感し、2020年からユースにジョイン。だれでもいつでも挑戦でき、それを支える社会づくりのため奮闘中。仕事も子育ても楽しむ元気な赤ちゃんになりたい。桃とチョコレートが好き。



プログラムコーディネーター 門間 大輝

宮城県石巻市出身。東日本大震災の経験から国際医療福祉大学へ進学。当時の学生団体の仲間と『一般社団法人えんがお』の創設に加わり、とちぎユースとの2足の草鞋で、“若者”×“地域”×“障がい者”がひとつの街で、互いに支え合い、自分らしい人生を送れるように様々な事業に挑戦中。“楽しみながら仕事をする”がモットー。



プログラムコーディネーター 中山 裕貴

さくら市出身。埼玉県の大学で行動経済学を専攻し、学外でもイベントの企画運営や学生団体運営をする。新型コロナの影響で4年時に栃木県に戻ることにとなり、卒業後の進路を悩む中でユースと出会う。インターン生を経てスタッフになる。好きな食べ物はパクチーが入っていない生春巻き。



プログラムコーディネーター 森谷 真依

真岡市出身。法政大学でメディア社会学について学ぶ傍ら、離島ボランティアや廃校・古民家再生インターンシップでの活動を通し、「地元に貢献したい」という想いが募り大学4年時にUターン。「若い人の一步を後押しできるメディアを創りたい」という想いのもと2021年4月にジョイン。現在は『あしかもメディア』のライターとして活動中。好きなこと（もの）はポートレート撮影と純喫茶とオカメインコのまるちゃん。



インターン生

阿部 こなみ（獨協大学4年）
井上 凜（多摩美術大学1年）
大久保 怜（東京学芸大学3年）
神山 乃々香（国際基督教大学2年）
篠原 悠太（宇都宮大学4年）
白金 励大（宇都宮大学3年）
須賀 未樹（宇都宮共和大学4年）
鈴木 千夏（宇都宮大学1年）
関根 佳純（東洋大学3年）
吉田 梨央（宇都宮大学1年）

OUR MAP

輩出した数

64人

これまで核として取り組んできた、若者による社会を良くするスタートアッププログラム「iDEA▶NEXT」(P.05)や実践型インターンシップ「GENBA CHALLENGE」(P.04)などを通して育んだプレイヤーたちとともに、栃木県全体の課題解決を加速させています。

日光市

- せりざわ村みんなのキャンプ場 (内山 裕介 2021)

那須塩原市

- みんなの蔵 TEO (君島 奈々 2021)
- 高校生コミュニティ Your Dream (小林 龍威 2018)

さくら市

- 寝め寝めフットサル (齊藤弘美 2020)
- まんまもちぎ (NPO 法人ボン・テ) (大河原 千晶 2018)
- キッズクレド (田中 崇子 2014)

市貝町

- Project SSB (長野 大輔 2014)

大田原市

- 一般社団法人えんがお (濱野 将行 2017)
- 農と共に (阿久津 清尚 2019)

那須烏山市

- ユース 2000 (なすから暮らし復興支援センター 2019)
- NPO 法人クロスアクション (渡邊 貴也 2014)

高根沢町

- maiMachi (代表 河合 明子他 3 名 2016)
- 高根沢に新しい風を吹き込む「場」を生み出す (佐々木 将志 2019)

鹿沼市

- 一般社団法人コブル (中尾 真人 2016)
- 合同会社 Crew (伊川 夢起 2014)

栃木市

- デモクラティックスクール・つながるひろば (宇賀神 雄太 2015)

上三川町

- 上三川のいえ (菊地 敦子 2017)

宇都宮市

- YUSEKKAI PROJECT (小川 紗理奈 2021)
- 同窓会バーベキュー (吉田 圭吾 2021)
- マツカフェ (松井 藍子 2020)
- TOCHIGI MOVIE (川崎 みさ旗 2019)
- 社会問題を解決するカフェ Diva (ダー 春花 サラ 2019)
- Satokko (毛利 颯汰 2019)
- 株式会社アグクル (小泉 泰英 2018)
- 新聞ちぎり絵サークル (館野智子 2018)
- 学生プレゼンコンテスト (高橋利久 2018)

宇都宮市

- Tochigi unique wedding (山口 絵美 2017)
- Ballon HEROS (斎藤 宏 2017)
- 精神障がい者の食生活支援 (間庭 昭雄 2017)
- 宇大生シェア化計画 (代表 飯ヶ浜 綾乃他 2 名 2017)
- スタディカフェ (木津 英美里 2017)
- NPO 法人キーデザイン (土橋 優平 2015)
- トチギええじゃないか (栗野 倫也 2016)
- ガーデンヘルプかぐみえん (小林 かぐみ 2016)
- ことのは教室 (内藤 さつき 2015)
- レクスタ (加藤 祐貴 2015)
- ユース 500 (かぬま市民生活復興センター 2015)
- 宇都宮カクテル college (大館 仁志・新妻 星也 2013)

(敬称略)

※掲載団体は、主に iDEA▶NEXT のファイナリストで、実際に活動を行った方々を中心に掲載しています。
※団体/会社名、もしくはプロジェクト名となっています。

地域 × 若者 = 栃木の新しい物語

NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワークは、栃木県をフィールドに活動する団体です。地域の先輩たちから脈々と受け継いできた私たちの暮らす地域では、様々な問題が表出し、多くの課題が生まれています。私たちの社会が生み出した課題は、私たち自身が解決できると信じ、2008 年の団体立ち上げ当初から、「人を育み、地域をつくる」ことを事業の核とし、様々な人々と一緒に挑戦しています。

Our concept

若い人材がチャレンジできる生態系と環境を育み、ひとや地域とのつながりをつくる「地域のコーディネーター」として活動します。

現場

若者と社会を創る実践者や地域の課題とのリアルな接点

役割

必要とされ、主体的に関われるフィールドの創出

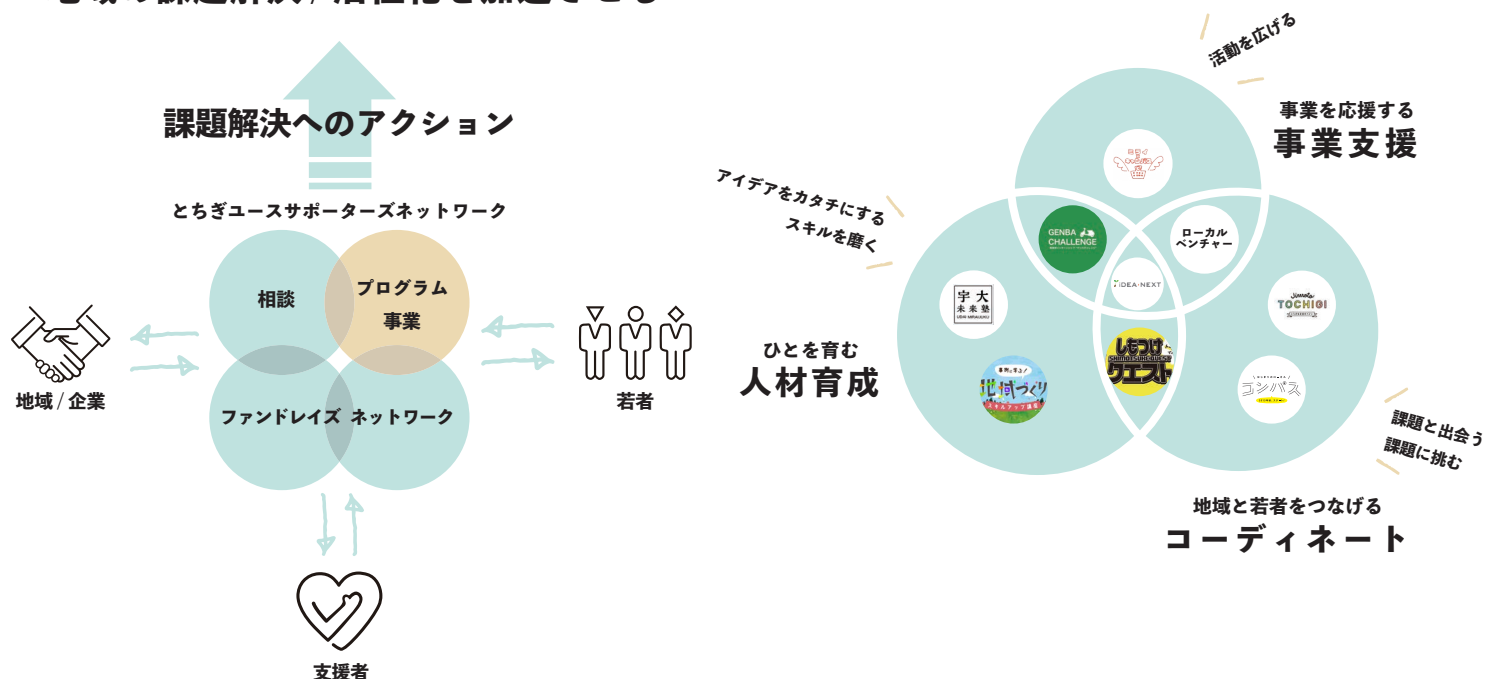
仲間

若者のチャレンジを支えあうソーシャルキャピタル

Our mission

Our approach

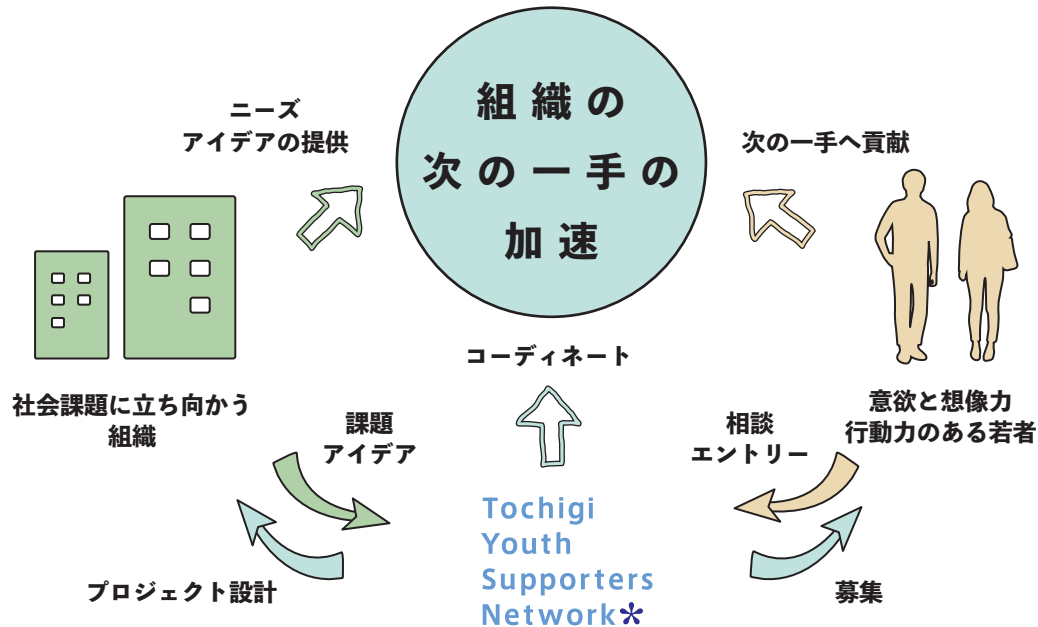
若者の力を活かして、
地域の課題解決 / 活性化を加速させる



自主事業



実践型インターンシップ-GENBA CHALLENGE-



宇都宮大学・文星芸術大学・明治大学の学生4名が、作家が丹精込めて作った器に入れた名店こだわりの珈琲と美味しい菓子を日替わりで提供する、ギャラリー × カフェの企画展“巡るこ〜ひ〜展 伍”の運営メンバーとして活動しました。築80年の古民家で、全国各地の12名の作家と8件の珈琲店、4件の菓子店が織りなす空間を最高の形で提供するため、開催準備段階からメンバーが意見を出し合い試行錯誤しながら準備を進めました。一スタッフとして、お客様により満足していただくためにはどうすれば良いのか考え行動した結果、ギャラリー展は大盛況の形で幕を閉じました。下野新聞様からの取材で紙面にも掲載されました。



陶器や漆器の作家作品を取り扱う弊ギャラリーは、毎月の展示の他、2年に一度開催する特別展があります。人気企画だからこそ、年々お客様からの期待も高くなります。クリエイティブさを大切に私たちの職業は“新しい風”を吹き込むことも必要。そこで今回ユースサポーターズネットワークにサポートを依頼し、力を借りることに。応募してくれた学生4人とギャラリーが一つのチームとなり企画、各所調整、広告マネジメント、作品販売まで。しかし企画はコロナ禍の真ただ中、実際にはスムーズに進まない問題にも直面しました。協議を繰り返し最後に迎えた本番一カ月、得られたアイデアや努力、行動力でコロナ禍も吹き飛ばす勢いで乗り切ることができ、良い結果を出すことができました。そして終了してからの気づきは“これはあるべきして迎えた結果だった”でした。“GENBA CHALLENGE”に手を挙げ、参加する高い意識を持った学生、そして応募し新たな“CHALLENGE”に向かう私たち。その相乗効果に結果は必然とついてくるものでした。こうした有意義な経験と結果を得られたことに感謝しています。

Gallery HANNA - 絆和 - ギャラリーハンナ Owner トーマスあすこ



今回の巡るこ〜ひ〜展 伍では、企画の準備段階から期間中の接客や販売、終了後の撤収や整理まで携わらせていただきました。ギャラリーのお仕事のみならず、うつわやコーヒー、そしてそこでの人と人とのつながりについて知ることができました。どれも準備から長期に渡って関わったからこそ気づきが多かったと思います。インターン終了後もギャラリーのお手伝いはさせていただいて、期間中だけでなく継続的な Gallery HANNA さんとの関わりの機会を与えてくださったことに、とても感謝しています。ありがとうございました！

宇都宮大学国際学部国際学科 2年 鈴木福



あしかもメディア

あしかもメディアとは、

“若者 × 地域 = ソーシャルグッド” をテーマに

「若者と栃木の魅力的なヒト・コト・モノ・シゴト」をつないでいく、

県内唯一の総合地域メディアです。

運営母体である NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワークは、10 年もの間、若者と地域を結びつけて新たな取り組みや事業家を育むお手伝いをしてきました。そんな日々の中で、「想い」と「行動力」に溢れ、新しい価値を生み出している面白い方々との出会いがありました。一方で、前に進もうと頑張る若者たちや将来への不安な気持ちに押しつぶされそうな若者たちにも出会ってきました。「そんな若者と地域で頑張る人たちをつなげ、前に進むための一歩を後押しできる場づくりができないだろうか」。そう考え、辿り着いた答えが「あしかもメディア」の運営でした。

「あしかもメディア」は、単に県内の情報を知るためのメディアではありません。意欲あふれる若者も日常を送ることが精いっぱい、若者も、「今日より明日、いいことあるかも」と一歩踏み出したくなる気持ちと力を得られる、そして色々な方と関わり合い自分の世界を広げるきっかけとなるメディアでありたいと思っています。「私もやってみようかな」「この人に会ってみたい」。そんな気持ちを育んでくれる人は、実は意外と身近なところにいるのかもしれない。「あしかもメディア」は、栃木県にある価値や物語を発信し、つながり合うコミュニティの一助になります。

若者（39 歳以下）：前向きに自分らしく行動するための一歩を踏み出す人が増える

掲載依頼主：新たな取り組みが加速する・仲間が広がる

地域社会：地域社会全体に多様な選択肢が生まれる

→ 「あした、いいことあるかも。」

・ ・ ・ あしかもメディアの特徴 ・ ・ ・

1

「若者 × 地域」という切り口では県内唯一のメディア



2

平均年齢 26 ～ 27 歳の編集者が記事の執筆・「あしかもメディア」の運営を行っているため、届けたいターゲット層に響く記事制作や情報発信ができる

3

運営機関の NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワークはのべ 37,250 人もの若者と関わりがある（2022 年 3 月現在）ため、直接若者にリーチできるという強みがある

・ ・ ・ あしかもメディアができること ・ ・ ・

ウェブサイト



拡散

オプションでイベントやプログラムの
当日取材・写真撮影も可能です

イベント・プログラム



SNSでの拡散



投稿用画像作成 + 投稿・拡散のお手伝いをします！

- ・取材 / 写真撮影 / 制作 / 掲載までの一連の流れ
- ・若者へ向けた編集と広報
- ・PR 記事の打ち出し

・ ・ ・ 掲載依頼主・読者の声 ・ ・ ・

- ・記事を読んだ人がイベントに参加してくれました！（行政職員 女性）
- ・アンケート募集に関する情報を載せていただいたおかげで、沢山の回答が来ました！（新聞記者 女性）
- ・求人情報を掲載したら、実際に働きたいという方からの応募がきました！今では大切な社員です。（園芸店経営 女性）
- ・自分の言葉が記事化され、はじめてこの仕事をしている意味が分かりました。（ショップ経営 男性）
- ・普段は意識しない仕事や会社への想いに気づかされました。（物流業 男性）
- ・イベント募集の情報を掲載していただいたところ、とても人が集まりました！（NPO 法人スタッフ 女性）
- ・「自分と同じような気持ちの人がいる」「私も頑張ろう」と勇気を貰いました。（大学生）

若者と、栃木の
ヒト・コト・
モノ・シゴトを
つないでいく



アクセスはこちら





「地域の困りごとを何とかしたい!」「もっと地域を盛り上げたい!」という未来に繋がるアイデアを持った若者を育むプログラムです。アイデアを持った若者と、課題解決を目指す組織・企業との輪を広げ、ワクワクする新たな地域を生み出します。

STEP4

活動開始

それぞれの現場で次のステップへと進む!
社会にハッピーを生み出す若者が地域へ!

STEP3

ファイナルプレゼンテーション

半年間にわたる準備や取り組みの成果と未来のプランを地域の方々に発表する。そこでアイデアの協力者や応援者を募る。

STEP2

ブラッシュアップ期間



① アイデアブラッシュアップ

エントリー者自身のアイデアを磨いていく研修を実施。オンラインの個人面談やブラッシュアップを行う。例年、先輩メンターから指導を受けながらアイデアを練り上げる1泊2日の合宿、ソーシャルビジネスセミナー、フィールドワークを計画しているが、新型コロナウイルスの影響により、今年度は中止。



② 実践的仮説検証

1次審査を経て選ばれたファイナリストは、適宜相談できる指導者がサポートしながら、お店のプレオープンやイベントの開催、商品の試作品づくりなど、アイデアを小さく実践して確認し、実用性の高いものにしていける。また、プレゼン本番へ向けての準備や練習を行う。

STEP1

アイデア募集・関連プログラム期間

自身が解決したい社会課題への想いやアイデアを持つ方を対象として、先駆者を講師とした事例紹介や企画の作り方講座のほか、自身のアイデアをブラッシュアップできる等、ワークショップ形式を取り入れた主体的にアイデアをカタチにする短期プログラム。

i D E A ▶ N E X T 2 0 2 1 出 場 者

せりざわ村みんなのキャンプ場

内山 裕介 さん



温泉が大好きで、2019 年 12 月に日光市川治温泉に移住しました。その移住から 3 ヶ月後に全世界でコロナの流行が始まり、観光客の姿が街から消えました。仲間とともに観光産業を少しでも応援できるよう活動している中、日光市せりざわにあるキャンプ場と出会いました。日本一ともいわれる清流と古くから癒しの森と伝わる大自然を活かしたキャンプ場経営を、みんなで作り上げていき、地域と関わり、役に立てるよう、本気で目指していきます。

「自分一人で頑張らなきゃ」 に手を差し伸べられる社会を

木原 知志 さん



『私がやらなきゃいけないから』と余裕のない様子で言う知人の負担を少しでも軽くしたかった。いざ周りに目を向けたら、皆が『私がやらなきゃいけない』と思っており、余裕が無い状態。社会には独りで頑張らなければならない時が多すぎると気づきました。独りで頑張る人に手を差し伸べ、独りで頑張らなくて良いと発信し、その先に助け合える社会があることを伝えます。

和 × 洋 着物・浴衣ドレス

ダー春花サラ さん



幼少期から、着物や浴衣を着る機会の少なさに寂しさを感じていました。また、日本の本当の魅力を海外の方に知ってもらいたいと感じることがあり、世界の日常に日本の美しい伝統を溢れさせたいという思いからこのアイディアは生まれました。栃木の宮染を使用し、着物や浴衣の雰囲気を残しつつ西洋的なドレスを作り、温故知新・和洋折衷をコンセプトに、伝統の継承を栃木から始めていきます。

日常＋ ～職場以外の繋がりを生み出す～

松村 真樹 さん



2020 年に就職の都合で関西から栃木へ移住し、知り合いがいなかったことから、職場以外の繋がりができるまでにはかなりのハードルがありました。そこで私は日常に「ちょっとした冒険」を加えることで、新たな「人」や「気持ち」との出会いを後押しし、そのハードルを下げられるように実現させます。

YUSEKKAI PROJECT (ゆせっかいぶろじえくと)

小川 紗理奈 さん



幼少期から今に至るまで銭湯の持つコミュニティに助けられてきました。現在年々激減している街の銭湯を残していくため、銭湯によって紡いだコミュニティを利用し銭湯の収益をあげることで銭湯業界を盛り上げていくべく、想いを伝えます。

塩原温泉を「ワクワクの雰囲気づくり」で 活性化～みんなの蔵 TEO～

君島 奈々 さん



栃木県那須塩原市出身で塩原温泉観光協会職員。生まれ育った温泉街が「何もない、寂しい温泉街」と言われる状況を変えたいと思い、自分たちの手で改装した「みんなの蔵 TEO」を拠点として、「駄菓子屋さん」や「シェア書齋」という使い方を通してゆったりとした時間の流れる温泉街ライフを提供します。ワクワクの発信源となることを目指しています。

避難所で快適に過ごすためのデザイン

福田 理奈 さん



高校 2 年生の萩原と平山と福田と藤田です。避難所でのストレスを軽減できるようなデザインを研究しています。睡眠という面に注目し、ダンボールベッドの製作などを行っています。この事業によって、たくさんの方々の災害によるストレスを軽減させ、より復興に向かいやすい世界をつくれるようにしたいと思っています。

U ターン BBQ

吉田 圭吾 さん



大学 3 年生で東京の大学に通っています。自分の事業は、栃木県に帰ってきた若者に遊びの場、集まれる場所を作ることです。まずその第一歩として自分の母校である宇都宮市立西小学校で、卒業生とその親を集めて BBQ を行おうと考えています。

事業



宇大未来塾

不透明で不確実な未来に対して挑戦し（Challenge）、自らも変わりながら（Change）、自身の幸せはもとより地域社会の発展に貢献する（Contribution）、3C精神を備えた若き“とちぎの志士”とその人的ネットワークを育む「とちぎ志士プログラム」と、変革期における経営の在り方、思考、技術を学ぶ「次世代経営マネジメントプログラム」を実施しています。

*事業パートナー：宇都宮大学



創業プロデューサー事業

栃木県産業振興センター、宇都宮市、地域住民及び地元商工団体等が一体となって創業のサポートを行い、創業者を地域で受け入れる体制を強化する事業。当会は「創業プロデューサー」として派遣され、創業者・創業準備者を対象とした「地域課題解決型創業支援補助金」の伴走サポート及び、採択者や創業準備者がつながり、切磋琢磨できる事業発表プログラムを実施しました。

*事業パートナー：公益財団法人栃木県産業振興センター



とちぎ地域づくり担い手育成事業

地域づくり活動は、興味・関心があっても容易に一步を踏み出す環境が整っておらず、活動を実践・継続できる人は限られるという現状があります。そんな課題の解決を目指すべく、次世代の地域づくり人材の掘り起こしやアイデアの醸成、担い手の育成を目的に、実践事例の発表や活動体験、実際の現場での体験プログラムの企画・実施を行っています。地域づくりの実践者から実際の事例に基づいた学びを得る機会の提供も行いました。

*事業パートナー：栃木県地域振興課



aret[アレット]

当会の「チャレンジャーが日常的に集い、広がり、高め合える空間が欲しい」という想いと、光琳寺住職井上公法氏の「これからの社会を考えたお寺の新たな役割を担いたい」という想いが重なり生まれた地域の拠点です。コワーキングスペース・シェアオフィス・イベントスペースとして利用できます。当会は管理・運営業務を行いながら、挑戦者が日々集い、挑戦をより地域に広げていく後押し機能を担います。

*事業パートナー：光琳寺

紹介



グリーン・ツーリズム組織づくり事業

自然も地域も元気になる旅行＝グリーン・ツーリズム。栃木には、自然の楽しみ方を知り尽くした素敵な旅先とプログラムがありますが、コロナの影響もあり、新たなツーリズム、そしてプロモーションをグリーン・ツーリズムネットワーク会員と共に議論し、描いてきました。また県内のグリーン・ツーリズムを集約した「とちぎのグリーンを楽しむ」サイトも完成しました（サイト：<https://tochigi-gt.net/>）。

*事業パートナー：栃木県農村振興課



下野市公民連携推進事業

下野市全体をキャンパスに、地域資源を題材にした講座『シモツケ大学』や広場や道路などの公共空間を活用した社会実験『にぎわい広場実験室（にぎらボ）』を通して、まちと人がつながる場をつくる取り組みです。今年度は、過去の参加者で実行委員会を立ち上げ、市民と協働で企画実施しました。事務局主体でなく、市民が参画して運営できるような仕組みをつくっていきます。

*事業パートナー：下野市総合政策課



目白大学課題発見・解決型インターンシップ

学生がチームとなり、企業の抱える経営課題の分析、改善案の提案に取り組む全 15 回の授業。宇都宮大学で共に授業を作っていた末廣先生と目白大学でも一緒に、企業理解を深め、課題解決力を持ち、チームで動ける若者の育成に取り組んでいます。当会は、学生の課題解決に向けた伴走支援（議論のフィードバックや問いの提供）を行っています。

*事業パートナー：目白大学



ユースハウス

地域や学生のためになるソーシャルなシェアハウスを目指して、南宇都宮にある空き家をインターン生や大学生らとゴミ捨てや掃除などして整備しています。今年度は地域ベンチャー留学などのインターンシップに参加した首都圏の大学生の滞在場所としても活用することができました。来年度以降シェアハウスとしての利活用を促進していきます。

*自主事業

応援者の声



「勇気をもらえる場所」
元インターン生 阿部 こな美さん

「栃木ってこんなに面白いことをやっていたんだ」「栃木ってこんなに夢を持つ人達がたくさんいるんだ」。そう気付かされたユースのインターン生活でした。自然と面白い大人たちや学生が集まるユースはいつ行っても新たな発見があって、社会人になった今でも勇気をもらう場所でもあり心の拠り所です。これからも応援しています！



「夢を夢で終わらせない場所」
寝め寝めフットサル教室 主宰 齊藤 弘美さん

「女性支援をしたい！」という想いが湧いてきていたものの、自分に何ができるのか分からず…。そんな中、とちぎユースさんに出会いました。とにかく沢山話を聞いて想いを引き出してくださり、その想いを言語化・実現化する手助けをしていただきました。プログラム終了後も仲間と繋がり続けることができました。これからも応援しています！



「数値に出来ない価値がある」
株式会社エンターテイン 代表取締役 CEO
常川 朋之さん

弊社はスタートアップ支援をしておりますが、売上や企業価値などで会社が評価される事がよくあります。しかし、ユースさんの活動を見ていると、数字だけで表せない価値があるのだという事を知る事が出来ました。人との出会いや成長の機会を創る、それは目に見えない大きな価値を地域に生む、未来への投資そのものだと思います。これからも活動を応援します！



「地域は人でできている」
帝京大学 経済学部 地域経済学科 講師
乗川 聡さん

私は年に数回ゼミ生と一緒にユースの活動に参加するのですが、ここに来ると、個性的な若者たちの熱気に驚くと同時に、彼らを見守る地域の方々の温かさにも気付きます。私は、地域を特徴づけるのは名所旧跡でもゆるキャラでもなく、そこに集う「人」なのだということを教えてくれたユースの活動をこれからも応援したいと思います。



「自分の可能性を広げてくれる場所」
白鷗大学 経営学部 矢島 彩花さん

ユースさんには社会人から学生まで様々な活動をされている人がたくさん集まります。そんな環境での出会いはとても刺激的で、自分の可能性を広げてくれるものでした。また、ここでのご縁が繋がり、現在も様々な活動に挑戦しています。ユースさんとの出会いがなければ、現在につながるご縁もなかったと思います。これからもずっと応援しています！



「行動力の支え」
作新学院大学 経営学部 安野 巧真さん

私は地元が好きで、大学では宇都宮創造都市研究センターに所属しまちづくりの活動に携わっていた中でユース様に会い、支えて頂きました。特に田川の橋の下で行われた「田川ブリッジシアター」にて客集めに困っていたところ、あしかもメディアをはじめとした様々なご支援により大盛況で開催できました。ユース様は学生の行動力の支えです。今後ともご活躍お祈り申し上げます。



「必ず返したい恩」
株式会社 万邦通商 代表取締役社長
三谷 亘さん

大学での岩井代表の講義を契機に、北高でのプレゼンやミライキャンパスの企画など数え切れない経験の機会を頂きました。ユースは常に心熱きプロの育て屋であり、種を蒔いて育てる過程で決して余計な肥料を与えず、真の意味で自分らしい自律的な成長を支えてくれたと、身に染みて憶えます。立派な経営者になり、必ず恩を返します。



「背中を押してくれる存在」
会社員 和田 紋佳さん

大学生の時にユースと出会い、栃木県内外のステキな人たちとたくさん繋がることができました。また、人生のターニングポイントを迎えるたびに親身に相談に乗っていただきました。背中を押してくれる存在があったからこそ、今自分の人生を楽しめています。これからも挑戦する人を全力でサポートしてくれるユースを応援させていただきます！

支援者・賛助団体企業



株式会社エンターテイン

企業の社内新規事業、スタートアップ・地域の独立起業家に伴走する、次世代の事業創造支援プログラムを提供している



株式会社キッズコーポレーション

幼児教育の専門家が集まり、常に「子どもにとって真に必要な教育とは何か」をモットーに企業や病院内に保育園を普及させる事業などを全国的に展開



株式会社ファンテクノロジー

機械、IT、電気電子の分野で様々な業界の企画、研究、設計開発、製造及び販売を行う専門エンジニアリング企業



企業組合とちぎ労働福祉事業団（こらぼワーク）

障がい者や高齢者の働く機会を作り出す「協同労働」の考えをベースに、それぞれが働きやすい環境を生み出す協同チーム

i D E A ▶ N E X T 2 0 2 1
協賛・寄付



aret[アレット]

大川総合法律事務所

大川総合法律事務所

RTC 株式会社アール・ティー・シー

株式会社アール・ティー・シー



株式会社ジード



有限会社 ドンカメ

ばん ぼう ふう しょう
株式会社 万邦通商
banpou.co.jp

株式会社万邦通商

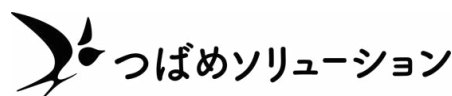


株式会社リアンコーポレーション



五月女建設株式会社
Soutome Construction Ltd.

五月女建設株式会社

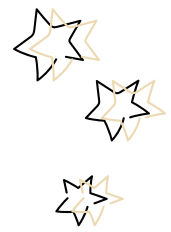


つばめソリューション株式会社

他 1 6 2 名



2021 NEWS



栃木県の若者の挑戦を応援したい！

次世代の社会課題に立ち向かう若者を応援してください！

7/16
まで



iDEA→NEXT ファンドレイジング

iDEA→NEXT2021 運営のためにファンドレイジングを実施し、総勢 231 名の方から 2,494,011 円の支援をいただきました。特に仲間や協力者を集めるために、クラウドファンディングを実施したことで、多くの方からの支援の気持ちを感じることができました。初の試みということで企画から最終日まで難航しましたが、会員や iDEA→NEXT 卒業生など多くの方から協力いただき、結果多くの支援が集まりました。当会が今まで積み重ねてきた信頼と実績を再認識することができ、さらに頑張ろうと気が引き締まりました。



新卒スタッフ合流

2020 年度の当会での実践型インターンシップをきっかけに、森谷 真依と中山 裕貴が新卒での入社となりました。2 人は栃木が地元ですが大学で首都圏に出ており、U ターン就職になります。インターン生だった時から地域や若者への想いが強く、できるようになりたいと自分を変えていく姿勢と行動力がチームにポジティブな貢献をしてくれました。特に、「あしかもメディア」の立ち上げや「新しい働き方」プログラムの運営など、新たな事業を進める原動力にもなりました。法人化して 11 年になりますが、これまでの土台の上に新たなスタッフの想いと力を載せて、掛け算できるチームにしていきたいです。



地域ベンチャー留学受け入れ

特定非営利活動法人 ETIC. が主催する実践型インターンシップ『地域ベンチャー留学』にて、2022 年 2 月より県外の学生 2 名の受け入れを行いました。インターン生には約 1 ヶ月半もの間、当会が運営母体となっているあしかもメディアの運営に携わっていただきました。県外の学生に、県内に拠点を置く私たちが運営を務めるメディアに参画いただくことで、新鮮かつ柔軟な視点で栃木の魅力を捉え、発信することができたと感じております。なにより、インターン生自身に多くの出会いが生まれ楽しそうに活動していた姿が印象的で、栃木県には改めて素敵なヒト・コト・モノ・シゴトがあるということを実感する貴重な機会となりました。ベンチャー留学終了後も関わり続けてれています。

ファンドレイズの取り組み

古本で若者のチャレンジを支える寄付のしくみ「ホン de チャレンジ」。読み終えた本が寄付になり、若者の社会を良くするアクションをサポート。ご自宅や職場で不要になった書籍や CD・DVD を株式会社バリューブックスが買い取り、相当額が当会に寄付されるファンドレイジングプログラム。いただいた寄付金については全額「iDEA→NEXT（アイデアネクスト）」の運営資金・受賞者への活動支援金などに活用。

※株式会社バリューブックス協働事業



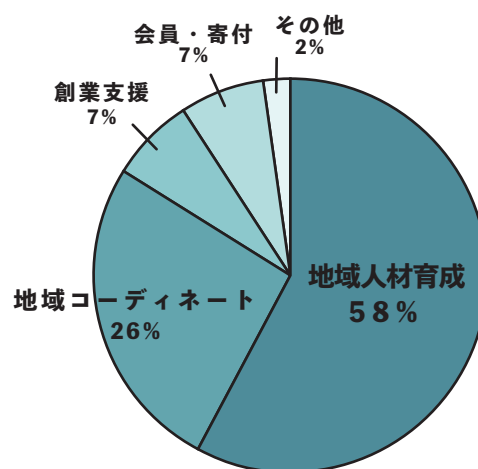
会計報告

全体収支

収入 39,400,909 円

支出 38,946,934 円

部門別収益構成



2021 年度寄付 / これまでの総計

本を寄付してくださった方 44 名 / 468 名

寄付冊数 3,809 冊 / 45,879 冊

総額 26,324 円 / 1,018,241 円

団体概要

スタッフ体制：常勤 5 名 非常勤 2 名

運営会員（個人）：18 名

賛助会員（個人）：15 名 賛助会員（団体・企業）3 社

チャレンジ会員：72 名（2022/03/31 現在）

理事 / 役員：

代表理事 岩井 俊宗（NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房 理事）

副代表 塚本 竜也（NPO 法人トチギ環境未来基地 代表理事）

理事 大塚 雅斗（株式会社キッズコーポレーション 代表取締役）

理事 小久保 行雄（有限会社ドンカメ 代表取締役）

理事 金井 光一（NPO 法人チャレンジド・コミュニティ 代表理事）

理事 中野 謙作（一般社団法人栃木県若年者支援機構 理事長）

理事 清嶋 磨利夫（株式会社キップルネットワーク 代表取締役）

理事 野崎 千晶（株式会社ワークエントリー 栃木事業部宇都宮営業所所長）

理事 濱野 将行（一般社団法人えんがお 代表理事）

理事 古河 大輔（一般社団法人カゼトツチ 代表）

理事 皆川 美咲（NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク）

理事 山下 典江（中小企業診断士）

監事 安藤 正知（NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房 理事長）

監事 山田 仁浩（フィネス株式会社 代表取締役社長）

若者の力を活かして
地域の活性化 / 課題解決を
加速させる

Tochigi
Youth
Supporters
Network*

NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク
〒320-0862 栃木県宇都宮市西原 1-3-4 aret
<https://tochigi-ysn.net>

📞 028-612-1575
✉ ysn_office@tochigi-ysn.net
🐦 [youth_tochigi](https://twitter.com/youth_tochigi)
📘 <https://www.facebook.com/tochigiysn>



LINE 公式



あしかもメディア